

氏名 佐藤 誠 (東区)

1. 新潟市の人口減少について

若い世代の首都圏への人口流出により、新潟市の人口は減少しています。人口流出に歯止めをかけるため新潟市は具体的に何をすべきであると考えられますか。

要旨

“新潟＝これが一番”のまちづくりを

詳細

何かで、新潟市が「日本一」と全国に知れ渡るものを創り上げなければならないと考えます。例えば、港・空港の活性化、日本海拠点都市の実現へ、経済面だけでなく、特に教育や文化・友好という人的交流でも日本一をめざすべきです。30歳以上の年代をターゲット世代として首都圏でのプロモーションなどの実施を提案しました。

2. 若年層へ向けた政策について

18歳から30代の若年層に向けた政策についてお聞かせください。

要旨

暮らしやすく、若者に魅力あるまちづくりを

詳細

人口減少、少子・超高齢社会を生き抜くため、若者・子育て支援の強化が求められています。

①若者雇用対策、女性の再就職支援を強化します。

②「結婚・新生活」への支援事業が始まりました。

③経済的な負担の軽減だけでなく、例えば読書活動の推進などを通して、親子の絆を深められ、子育ての喜びを実感できる政策を推進します。

3. 若年層の政治への無関心について

若年層が政治離れする一番の理由として、誰がやっても変わらないという意見がありますが、どのように感じていますか。

要旨

若者の活躍こそ変革の原動力です

詳細

国連の持続可能な開発のための2030アジェンダでは、若者を変革のための重要な主体と位置づけ、その力の発揮に期待を寄せています。若者存在、若者の活躍こそ地球的問題群を解決する原動力であり、本市にとってもまったく同じと考えます。

①若者の政策形成過程への参画を促進します。

②若者の夢へのチャレンジへ支援を進めます。

4. 新潟市とSDGsについて

新潟青年会議所では本年度、私たちの考える明るい豊かな社会の実現のため、誰一人も取り残されない、持続可能な目標であるSDGsを推進していますが、SDGsの17項目のうちどの項目に力を入れて具体的にどのように取り組んでいきたいと考えますか。

要旨

つくる責任 つかう責任

詳細

SDGsのいずれの項目も大変に重要です。その中で今、特に関心を持ち、取り組んでいる課題の一つは「食品ロス」削減です。

新潟市独自の「エコポイント」ともいうべき「にいがた未来ポイント」がすでに実施されていますが、この対象に「食品ロス」に関わる取り組みも加えるべきと考えます。

また、もう一つにリサイクルの推進を進めています。例えば新潟市では、「使用済み小型家電」の回収を始めています。さらに省エネ推進へ「LED防犯灯」の設置を推進しています。

5. 中原市長の10の基本政策に対してどのように考えていますか。

10の基本政策のうち一つ選択し、お書きください。

要旨

4. 安心・安全なまち新潟～防災拠点都市を確立

詳細

私も、安心・安全で災害に強く、人にやさしいまちづくりをめざしています。

近年の頻発化・激甚化する災害から、かけがえのない“命”を守るため、防災・減災に取り組めます。

①経験や思い込みで避難行動をとらない人が少なくありません。いざという時にためらいなく避難行動に移れるよう「マイ・タイムライン（時系列行動計画）」の作成を推進します。

②防災士など地域の防災リーダーの育成を通し、地域の要である自治会町内会の強化・再構築を進めます。

③「感震ブレーカー」や「マンホールトイレ」の設置を促進します。